

未来に選ばれる企業になろう



「SDGs」とは
2015年9月に国連サミットで採択された17の大きな目標と具体的な169のターゲットで
構成される2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

角文 SDGs宣言

私たち角文は「不易流行」の精神で、
お客様や地域社会から必要とされ続ける企業を目指し、
幸せで持続可能な社会を創っていきけるよう取り組んで参ります。

2020年4月1日
角文株式会社
代表取締役 鈴木文三郎

第二本社プロジェクト



角文は2023年の創業160周年に向けて、記念事業として第二本社ビル・社員寮の建設を計画しており、実施にあたって社内プロジェクトチームを立ち上げ、以下の目標を掲げています。

① 木造の魅力を伝える

愛知県産木材の活用を視野に入れ森林保護からライフサイクルコスト(LCC)まで木造のメリットを最大限に生かすことのできる建物を計画しています。そして何よりも木の感触や香りを楽しめる居心地の良い空間を提供したいと思っています。

② 災害に対応

地域特有の災害に対応できるように計画しています。災害時におけるコミュニティ（ソフト）は安全な建物（ハード）が確保されてこそ成り立つと考えます。地域みなさまの「安心の礎」となるようなエリアづくりを目指しています。

③ 「省エネ」と「創エネ」

エネルギーの消費を極力抑える構造や設備の採用はもちろんのこと、積極的に自然エネルギーを取り入れることにより快適な環境を可能にします。ソーラーパネルによる太陽光の活用も計画しています。

コンパクトシティ



角文は、優良建築物整備事業及び防災・省エネまちづくり緊急促進事業として、刈谷と安城にモデルとなる複合施設を建設しています。人の行き来が増えることで街に活力を生み出し、持続可能な都市化の促進と未来が楽しみな街づくりの実現を目指します。

<角文の取り組み事例>



○刈谷銀座AB地区開発『GINZA TREE+』

30年余り具体的な活用がなかった市有地と周辺用地とを一体化整備し、居住人口を増やし、周辺住民にも安心して利用いただける施設（スーパー、カフェ、保育園、デイサービス、クリニックなど）を設置、さらに地域の防災拠点として機能します。（2020年3月完成）



○安城南明治 市有地有効活用『DENCITY』

市有地を中心とした用地を一体化整備するとともに、共同住宅ゾーン・オフィスゾーン・ホテルゾーン・駐車場ゾーンを設け、1階には商業施設が入ります。

また、地域のイベントに活用できる広場や災害時に周辺住民の臨時避難場所として機能します。居住する人、地域住民、施設利用者が安心して活用できる施設です。（2022年3月完成予定）

「コンパクトシティ」とは

中心市街地の活性化が図られた、生活に必要な諸機能が近接した効率的で持続可能な都市のことです。

安心して住める街へ



行政機関等と緊急的な災害対策支援に関する協定書を締結しています。災害訓練を定期的 to 実施し、災害発生時は迅速な災害活動の実現に努めます。

耐震工事、改修工事においては公共的建造物から個人の住宅まで安心のための品質を確保し、すべての人たちが住みやすいまちづくりを目指しています。

📷 行政からの要請で路面や橋の凍結を防止するため凍結防止剤を散布しています。

環境への配慮



建設工事現場からの汚濁水の流出及び重機からの油漏れによる河川、港湾の水質汚染の防止に努めています。

また、省エネ性能の高い建築物の提案、計画、設計をし、計画段階から消費エネルギーの減少を目指しています。

📷 当社の提案によって工場の屋根上を屋上緑化した事例です。

働きやすい環境づくり



全ての従業員が柔軟に働きやすい環境づくりを進めています。それにより、満足度の高い生産性につなげワーク・ライフ・バランスの実現を目指しています。

- ・健康診断・検診を実施及び生活習慣病の対策を推進
- ・社内及び現場事務所内の禁煙・分煙化
- ・あいち女性輝きカンパニー認証書取得
- ・愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録

📷 社内では、特定の席を決めないフリーアドレス化が進んでいます。

教育を受ける機会を提供・支援



次世代の担い手を育成する機会をつくり、スキルアップと資格取得支援を進めています。また、早い段階から、スキルを身につけ様々な体験を得る機会を制限しないこと、多様な働き方やチャレンジの機会を提供していきます。

インターンシップ制度、職場体験、地域の子供たちへの環境学習とさまざまな体験を得る機会を積極的に提供していきます。

📷 年に複数回、インターンシップを開催。現場見学や仕事体験をして頂きます。

CSR活動

角文は社員一人ひとりが様々な活動を通して「魅力ある地域」を目指しています。



<ビオトープ “逢妻の郷”>

角文創業140周年記念事業の一環として、2003年7月に「ビオトープ」をつくりました。地域社会への恩返しと子供達の環境教育（ホタルの放流会等）の場として「逢妻の郷」と命名し、開放しております。この活動は、2015年愛知環境賞より優秀賞を頂きました。そして国の環境省が主催する「こどもホタルエンジャー 2017」で角文の環境活動が『企業』として全国で初めて奨励賞に輝きました。ホタルなどの水辺の生き物や水辺の自然とふれ合い、自ら調べて水環境を守るこどもたち、それが「こどもホタルエンジャー」です。

<環境学習>

毎年6月の環境月間には角文本社の前を流れる逢妻川で、総合学習の授業として、当社の社員が先生となって、地元の小学校の児童と共に川の環境学習を行っています。



<水源の森づくり活動>

「水源の森づくり活動」は、豊田市足助町にある約110haの当社所有の森林にて間伐、植林活動や生態系の保護・観察などを行っています。『300年の森づくり』をコンセプトに森林削減の阻止、劣化した森林を回復することを目標に、着実な一歩を進めています。



<障がい者支援>

障がいがありながらも自立を目指す、才能あるアーティストを応援する「アティックアート」プロジェクトに参画しています。個性あふれる作品は、卓上カレンダーなどのノベルティグッズに使用されるほか、原画は本社エントランスロビーに飾られ、社内外の人々の目を楽しませてくれます。刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」のラッピング広告にも作品を使用しています。



<災害用自家発電機>

災害用ガスバルクタンク並びにガス発電機を本社敷地内に設置し、停電時のBCP（事業継続計画）対策をしています。また、地元自治会と協定書を締結し、地域の皆さんの一時避難所としての役割を担います。



ISO9001/14001/45001 認証取得

当社では、統合マネジメントシステム（品質/環境/労働安全衛生マネジメントシステム）を構築し、ISO9001/14001/45001の認証を取得しています。

